



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 田辺工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1828 URL <http://www.tanabe-ind.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 四月朔日 義雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 事務部長 (氏名) 小野 彰 TEL 025-545-6500  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,571	8.8	194	-	195	-	121	-
22年3月期第1四半期	3,915	14.9	45	75.9	59	71.9	33	69.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	22	61	-	-
22年3月期第1四半期	6	20	-	-

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	17,663	9,171	9,171	51.9	1,714	00		
22年3月期	17,214	9,369	9,369	54.4	1,751	10		

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 9,171百万円 22年3月期 9,369百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	-		0	00	-		20	00	20	00
23年3月期	-									
23年3月期(予想)			0	00	-		20	00	20	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	9,400	7.8	310	32.7	350	25.4	200	19.1	37	38
通期	20,800	16.2	730	45.0	750	44.5	400	46.0	74	75

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更：有

以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期 1 四半期	5,364,000株	22年3月期	5,364,000株
23年3月期 1 四半期	13,120株	22年3月期	13,120株
23年3月期 1 四半期	5,350,880株	22年3月期 1 四半期	5,350,880株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計期間）

四半期レビュー手続の実施状況に関する説明

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年5月14日発表の第2四半期連結累計期間、通期連結業績予想を修正していません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . その他の情報 .....	3
( 1 ) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
( 2 ) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
( 3 ) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書 .....	6
( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4 . 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、中国を始めアジア諸国への輸出や、政府の景気刺激策により、緩やかな回復基調を示しましたが、欧州の金融不安といった新たな要素も加わり、円高基調により本格的な景気回復にはほど遠い状況のまま推移いたしました。

設備工事業界におきましては、企業業績の回復により、一部に設備投資回復の兆しが見え始めましたが、民間設備投資全体では本格的な回復といえる状況には至らず、業者間の受注競争は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下で当社グループは、受注の確保・拡大を図ってまいりましたが、設備工事業は前年同期比並みに止まりました。タイ国の表面処理事業は、自動車生産の回復により工場の稼働率が上昇しました。結果受注高は6,384百万円（前年同期比4.0%増）となりました。売上高は、表面処理事業は好調でありましたが、設備工事業において、前期より適用となりました工事進行基準により前期繰越工事が減少したため、第1四半期の完成工事が影響を受け、結果3,571百万円（前年同月比8.8%減）となりました。

利益面につきましては、減収並びに競争激化に伴う利益率の低下により、売上総利益が大きく減少したため、営業損失194百万円（前年同期は営業利益45百万円）、経常損失195百万円（前年同期は経常利益59百万円）、四半期純損失121百万円（前年同期は四半期純利益33百万円）となりました。当第1四半期のセグメント別では、設備工事業においては、第1四半期での受注は前年同期並みでありましたが、前期からの繰越工事が工事進行基準の適用により大きく減少したため、売上高は3,321百万円（前年同期比11.8%減）、営業損失85百万円（前年同期は営業利益191百万円）となりました。表面処理事業は、景気回復の影響を受け、自動車関連部品のメッキラインの稼働率が上昇したため、売上高217百万円（前年同期比119.9%増）、営業利益26百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。その他の事業は、売上高31百万円（前年同期比36.2%減）、営業損失6百万円（前年同期比46.9%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は17,663百万円となり、前連結会計年度末に比べ448百万円増加しました。

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は12,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ540百万円増加しました。主に現金及び預金、未成工事支出金等の増加によるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は5,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少しました。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は7,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ664百万円増加しました。主に支払手形・工事未払金等、短期借入金の増加によるものであります。

#### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,388百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少しました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は9,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.4%から51.9%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同四半期に比べ338百万円増加し、2,766百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

税金等調整前四半期純損失が192百万円となりましたが、売上債権の減少、仕入債務の増加、未成工事受入金の増加等による収入が多く、営業活動によるキャッシュ・フローは365百万円の収入（前年同四半期は381百万円の支出）となりました。

### 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

有形固定資産の取得による支出等により、283百万円の支出（前年同四半期比641.3%増）となりました。

### 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

主に短期借入金の増加により、555百万円の収入（前年同四半期は654百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、設備工事業、表面処理事業、その他の事業とも、受注高は現在まで概ね予定通り推移しており、平成22年5月14日発表の業績予想（決算短信）の変更はありません。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### (資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業損失、経常損失はそれぞれ382千円増加し、税金等調整前四半期純損失は9,401千円増加しております。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,766,330	2,156,188
受取手形・完成工事未収入金等	7,538,764	8,953,300
未成工事支出金	1,735,359	543,961
その他のたな卸資産	136,090	132,228
繰延税金資産	372,967	290,957
その他	98,883	32,692
貸倒引当金	2,958	4,128
流動資産合計	12,645,436	12,105,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,000,485	3,979,844
機械、運搬具及び工具器具備品	2,060,179	2,014,263
土地	1,456,864	1,454,246
リース資産	64,628	46,989
建設仮勘定	10,630	10,175
減価償却累計額	3,382,673	3,272,743
有形固定資産合計	4,210,114	4,232,775
無形固定資産	98,671	97,140
投資その他の資産		
投資有価証券	341,201	399,681
繰延税金資産	273,395	270,489
その他	95,766	111,061
貸倒引当金	1,385	1,450
投資その他の資産合計	708,978	779,781
固定資産合計	5,017,764	5,109,698
資産合計	17,663,201	17,214,900

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,077,610	2,703,760
短期借入金	1,461,525	760,700
リース債務	12,272	9,045
未払金	835,325	1,481,567
未払費用	264,359	255,178
未払法人税等	17,267	267,907
未成工事受入金	329,961	117,786
完成工事補償引当金	29,482	32,419
工事損失引当金	73,000	7,500
賞与引当金	803,794	593,431
役員賞与引当金	-	47,000
その他	198,795	162,815
流動負債合計	7,103,394	6,439,112
固定負債		
長期借入金	455,000	490,000
リース債務	42,400	29,775
退職給付引当金	675,376	673,377
役員退職慰労引当金	215,639	212,721
固定負債合計	1,388,416	1,405,873
負債合計	8,491,811	7,844,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,320	885,320
資本剰余金	1,475,320	1,475,320
利益剰余金	7,088,613	7,322,637
自己株式	6,485	6,485
株主資本合計	9,442,768	9,676,792
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,299	39,314
為替換算調整勘定	299,677	346,191
評価・換算差額等合計	271,377	306,877
純資産合計	9,171,390	9,369,914
負債純資産合計	17,663,201	17,214,900

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,915,533	3,571,011
売上原価	3,311,271	3,197,312
売上総利益	604,262	373,698
販売費及び一般管理費	559,237	567,739
営業利益又は営業損失( )	45,024	194,041
営業外収益		
受取利息	1,375	21
受取配当金	3,214	3,747
受取地代家賃	7,469	7,627
投資有価証券評価益	7,025	-
その他	3,708	4,220
営業外収益合計	22,792	15,616
営業外費用		
支払利息	5,016	4,891
コミットメントフィー	2,619	2,619
投資有価証券評価損	-	9,655
その他	1,176	220
営業外費用合計	8,813	17,386
経常利益又は経常損失( )	59,003	195,811
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,663	624
固定資産売却益	978	28
役員退職慰労引当金戻入額	8,030	-
投資有価証券売却益	-	12,909
特別利益合計	14,671	13,562
特別損失		
固定資産処分損	-	130
固定資産売却損	8	409
ゴルフ会員権評価損	100	350
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	9,019
特別損失合計	108	9,909
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	73,567	192,157
法人税等	40,415	71,155
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	121,002
少数株主利益又は少数株主損失( )	-	-
四半期純利益又は四半期純損失( )	33,151	121,002

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	73,567	192,157
減価償却費	64,892	87,284
投資有価証券評価損益( は益)	7,025	9,655
貸倒引当金の増減額( は減少)	5,663	624
賞与引当金の増減額( は減少)	192,809	163,363
退職給付引当金の増減額( は減少)	22,702	14,165
完成工事補償引当金の増減額( は減少)	164	2,937
工事損失引当金の増減額( は減少)	-	65,500
受取利息及び受取配当金	4,589	3,768
支払利息	5,016	4,891
為替差損益( は益)	410	-
投資有価証券売却損益( は益)	-	12,909
有形固定資産売却損益( は益)	970	381
有形固定資産除却損	-	130
売上債権の増減額( は増加)	661,553	1,411,541
未成工事支出金の増減額( は増加)	1,105,618	1,190,362
たな卸資産の増減額( は増加)	11,951	16,195
その他の流動資産の増減額( は増加)	47,157	12,811
仕入債務の増減額( は減少)	786,776	357,579
未成工事受入金の増減額( は減少)	772,369	212,174
その他の流動負債の増減額( は減少)	10,024	280,131
その他	523	9,751
小計	92,903	624,520
利息及び配当金の受取額	4,589	3,768
利息の支払額	5,361	4,888
法人税等の支払額	287,994	258,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	381,668	365,365
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	38,012	323,367
有形固定資産の売却による収入	1,060	858
無形固定資産の取得による支出	791	4,505
投資有価証券の取得による支出	496	506
投資有価証券の売却による収入	-	43,759
貸付金の回収による収入	159	54
その他	158	235
投資活動によるキャッシュ・フロー	38,239	283,470

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	500,000	700,000
長期借入金の返済による支出	25,000	35,000
配当金の支払額	128,431	107,091
リース債務の返済による支出	1,233	2,668
財務活動によるキャッシュ・フロー	654,664	555,240
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,079	14,183
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,056,493	651,318
現金及び現金同等物の期首残高	3,484,609	2,156,188
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	41,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,428,115	2,766,330

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

「参考資料」

受注の状況

(単位：千円)

区分	前年同四半期 (平成22年3月期 第1四半期)	第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	増減	増減率%
設備工事業 産業プラント設備工事	2,773,617	2,536,497	237,119	8.5
設備保全工事	1,440,117	1,676,990	236,873	16.4
電気計装工事	1,225,629	1,091,749	133,879	10.9
送電工事	279,713	365,908	86,195	30.8
管工事	266,046	431,142	165,096	62.1
小計	5,985,123	6,102,289	117,166	2.0
表面処理事業	99,076	217,906	118,829	119.9
鑄造用工業炉	56,043	64,041	7,997	14.3
合計	6,140,243	6,384,236	243,993	4.0